

ねあらい 学園だより

浜松市根洗学園
住所：〒433-8108
浜松市北区根洗町667-1
TEL:053-436-9318
FAX:053-436-9326

在籍児 71名(9月26日現在)
◇毎日通園 年長児20名 年中児24名
年少児23名 2歳児4名
◇選択通園 らいおん24名
フレンズ17名 子じか82名
◇親子教室ねあらい 45名

日が暮れるのも早くなり、夕方になると草むらから虫の音が聞こえるようになってきました。でも日中はまだまだ残暑の厳しい日が続きます。気温の変化に注意しながら体調管理に気を付けて過ごしましょう。

10月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
		1 内科検診 (もも)	2 短縮日課 (～4日) 9月実績確認印	3 避難訓練	4 内科検診 (きい・みどり)	5 からだあそび教室 (個別)
6	7 集合写真	8 母親教室 三方原幼稚園 親子交流	9 おひさま (みどり ～16日)	10 アート (きい・みどり) 手づくりクラブ	11	12 療育ことばの教室 からだあそび教室 (集団)
13	14 体育の日	15 ☎	16 音あそび (きい)	17 秋の遠足	18 食育	19 子じか 療育ことばの教室
20 父親参観 療育ことばの 教室	21 振替休日	22 おひさま (もも ～11/1)	23	24 秋の遠足予備日	25 懇談会 (みどり)	26 療育ことばの教室 からだあそび教室 (個別)
27	28 集合写真 (予備日)	29	30	31 誕生会 10月利用実績表提出 11月利用予定表提出		

◎懇談会：25日(金) 13:00～14:30 年長児の親御さんを対象に集会室(ぱんだ)で行います。

子どもは通常日課です。

◎三方原幼稚園親子交流：8日(火) 9:15～10:15 に実施します。運動あそびを行いますので上靴を持って来てください。また、名札をつけての参加をお願いします。参加を希望される方は10/4(金)までに生活記録表でお知らせください。

◎おひさま：みどりグループは9日(水)～、ももグループは22日(火)～始まります。詳細はグループからお知らせします。

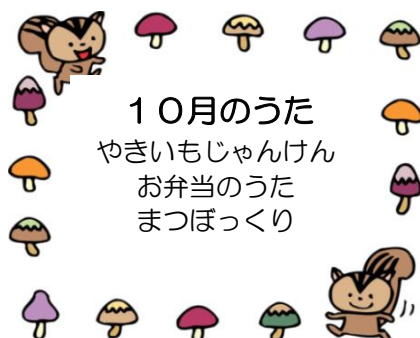
※児童福祉法に関する実績確認印、予定表・報告書の提出日へのご協力をお願いします。

バスの添乗職員に忘れずに提出して下さい。

※カレンダー内の電話マーク☎の日は、職員会議の為、15:30以降、お電話に出られない場合もあります。ご理解とご協力をお願いします。

《実習》

10/28～11/1 ナンヤン理工学院 2名 (ももグループ・きいグループ)





ほけんだより



嘱託医の先生に最近の病気の傾向を伺いました。

- ・空気が乾燥する季節になりました。感染症で流行しているものは特にありませんが、せき・鼻水・発熱など普通の風邪の症状で受診する人が多いです。今後涼しくなって、朝晩と日中の温度差で体調を崩すことも増えてきます。早寝早起きをしてからだを休める、朝ごはんをしっかり摂るなど生活リズムを整えて、体調管理に気をつけていきましょう。また、こまめにお部屋の換気を行ったり、加湿器を活用してお部屋の湿度調整を行いましょう。
- ・まだまだ日中は暑くなる日も多いです。熱中症や脱水症状には引き続き注意して、水分補給等を意識しておこなっていきましょう。
- ・これからインフルエンザが流行する季節になります。早めの予防接種をお願いします。



お願い これから風邪をひきやすい時期になります。
お薬を持って登園する場合、以下のことをもう一度確認してください。

- * 水薬は名前を書いた容器に一回分を入れ持たせて下さい。
- * 粉薬は袋に直接名前を書いてわかるようにして下さい。
- * 家庭で飲ませる時の工夫も教えて下さい。



お知らせ 内科健診を行います。

- ☆ももグループ 10月1日(火) 13:00~13:30
 - ☆きい・みどりグループ 10月4日(金) 13:00~13:30
- 嘱託医のわんぱくキッズの先生に子どもの健康状態を診ていただきます。
結果は後日お知らせします。



発達支援広場

親子教室ねあらい

1歳~就園前

日程：1, 2, 4, 7, 11, 15, 16, 18,
22, 23, 25, 28, 29, 30日
ねらい：着席できる、名前を呼ばれて返事をする
活動：遠足、ミニ運動会、面談日、お話し会

たんぽぽ広場

1歳~就園前

日程：3, 10, 17, 24日
ねらい：友達と楽しくあそぼう、
スタッフとお話しよう
活動：運動あそび、音楽あそび、
お話し会(月1回)





目的 動物や植物を見たり触れたりして親しむ。
親子、友達と触れ合い遠足を楽しむ。
観光バスで行き帰りを楽しく過ごす。



日時 平成25年10月17日(木曜日) 【雨天予備日 24日(木曜日)】

目的地 のんほいパーク(豊橋総合動植物園)
集合場所 根洗学園駐車場・浜松駅(アクトシティ前※希望される方には地図をお渡しします。)
※いずれかの場所で集合をお願いします。

持ち物 弁当(親子とも)・水筒・おやつ・敷物・必要に応じて着替え
集金 バス代、1家族につき1,000円の自己負担をお願いします。
バス代につきましては当日、集金いたします。

〈タイムスケジュール〉



8:10 浜松駅(アクトシティ前)集合
8:50 学園集合
9:00 中庭にて全体ではじめの会
9:10 バス4台に乗り込み出発
10:30 到着・グループ行動
13:20 中央門集合
13:30 出発
15:00 学園到着・解散
＜予備日もスケジュールは同様です＞



☆手帳をお持ちの方は減免対象となります。お持ちの方は手帳の番号を記入して下さい。
☆ご家族の入園料は、大人2人目から自己負担(600円)となります。
☆出欠表は、10月3日(木)までに提出をお願いします。

※雨天時の対応

- ・順延時は、当日朝6:30頃に連絡網を回します。(NHKの天気予報で豊橋市の降水確率が50%以上の場合延期)
- ・17日遠足が中止の場合は、学園にて通常日課(お弁当持参)を行ないます。遠足は24日に延期です。
- ・24日雨天となった場合は、グループ別で、雨でも行ける場所での遠足を計画しています。この機会にグループのメンバーとバスに乗ったり、外部の施設でのスペシャル感を味わえる内容を計画しています。その為、グループによっては一家族800円弱の入場料がかかるグループもあります。ご理解とご協力をお願いします。雨天時の内容・行先等は10月発行のグループ便りにてご連絡致します。



きりとりせん

秋の遠足出欠票

グループ名 _____ お名前 _____

集合場所 浜松駅(バンビツアー乗り場) ・ 学園 _____

療育手帳番号

10月17日 のんほいパーク

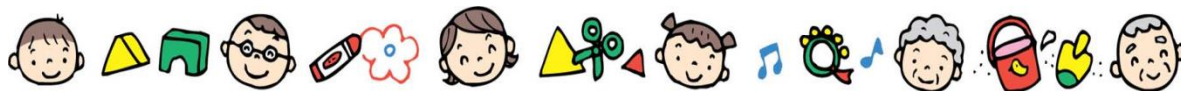
出席 ・ 欠席 【親子以外の参加される方(子ども 人、大人 人)】

10月24日 のんほいパーク

出席 ・ 欠席 【親子以外の参加される方(子ども 人、大人 人)】

いずれかに○をつけて10月3日までにオタよりパックにはさんで提出して下さい。

父親参観会



10月の父親参観会を下記の通り予定しています。たくさんのお父さんの参加をお待ちしています。
今回は、毎月行っているスキップのお父さんバージョンということで、午前中はさんぽ、午後は、
たてわり懇談会です。

目的 学園での子どもの過ごし方を知る。 お父さん同士の親睦を図る。

日時 平成25年10月20日（日） 9：50～14：30

日程 9：50～登園

10：15～朝の会

10：45～晴天：散歩（雨天：運動あそび）

11：40～昼食（グループごとお弁当を食べます）

12：50～グループ懇談 “いろいろなお父さん、先生と話そう”

参加人数により、たてわりグループを作り、子育てで気になっていること、
聞いてみたいこと等。

14：15～グループにて帰りの会

14：30 終了

持ち物

弁当、飲み物、筆記用具（ペン）

ねらい

- ・散歩では、交通マナー、ルール等を守ること、手をつないで歩くこと等のねらいがあります。歩きながら「〇〇まで歩こうね、頑張ろうね」「車来だね、危ないね」などの声かけで働きかけてみましょう。
- ・雨天時の運動あそびは、巧技台や平均台、はしご、トンネル等様々なものを使ったコースに取り組みます。手足を使った課題にバランスをとったりジャンプにも挑戦します。お父さんと「手伝って」などのコミュニケーションも意識しながら取り組んでみましょう。

その他

- ・今回は、父子参加でお願いします。（家族の参加は1回目のみ行っています。）
- ・動きやすい服装でお越しください。
- ・開始時間が普段の療育日とは異なりますのでお間違のないようにお願いします。
- ・当日の天候次第で雨天の計画「運動あそび」になります。
- ・お父さんが欠席の場合もお子さんは登園日となります。
- ・バスの時間は通常と変更する可能性がありますので、ご協力をお願いします。
- ・翌日の10月21日（月）は休園日（振替休日）です。
- ・不明な点は、担任までご連絡ください。

父親参観会出欠表

きりとりせん

グループ名

お子さんのお名前

出席確認

父子で出席

・

子どものみ出席

・

父子共に欠席

園児登園方法

バス利用（ 行き ・ 帰り ）

※バスの時間調節などありますので、10月10日（木）にバス利用の受付は締め切りとさせていただきます。

備考欄

（

）

キリトリ線以下を記入し、10月3日（木）までにおたよりパックにてご提出ください。

母親教室



スプーンからお箸へ
ステップアップ

日時	10月8日(火)	10:10~14:20
場所	集会室(ぱんだ)	
目標	発達支援級について学ぼう・発表会について意見を出し合おう	
日程	10:10~	はじめの会「手あそび、ちょこっといい話、ワンポイントレッスン」
	10:30~	お母さんのお話(4名)
	11:00~	発達支援級の話 講師:浜松市立佐鳴台小学校 中谷淳一先生
	11:50~	質疑応答
	12:00~	ランチタイム
	13:00~	職員の話
	13:15~	キラキラ発表会について
	14:10~	感想用紙の記入
	14:20	終了

発表会の出し物では、アンケートより劇や合唱の案が出ています。内容や歌いたい曲、またその他行いたいものなど考えてきてください。

- 持ち物
- ・お弁当、筆記用具、手あそび集
- お知らせ
- ・ランチタイムに工房めいさんによるパン販売があります。ご利用される方はどうぞ☆
- その他
- ・出欠、登園方法を9月27日(金)までに生活記録表にてお知らせください。
※駐車場、使用教室の調整のため、必ず出欠の連絡をして頂くようお願いいたします。
 - ・兄弟の託児を午前のみ(10:10~12:00)行ないます。
希望される方は9月27日(金)までにお子さんのお名前、年齢をお知らせ下さい。
- 持ち物:託児代200円、子どもの名札、お気に入りのおもちゃ、子どもの飲み物

9月の母親教室の感想

- ・育成会の会長さんのお話はもう少しゆっくり聞きたかったです。
- ・会長自身も障がいを持つ子どもの親だと分かり、今までの活動も知れてよかったです。
- ・今回もお母さん達のお話に涙してしまいました。みんなそれぞれ苦労もあるけど、「挑戦」することも大切なんだなと思いました。少しずつ目標を立てて前へ進んでいけるといいなと思います。
- ・運動会の練習時間がもう少しあったらよかったです。グループでひとつのことを考えたりすると一人ひとりの距離が近づいたりしてすごくいい事だと思いました。



フレンズ

根洗学園より、幼稚園、保育園に転園した子ども達のフォローアップグループです。今年度は年少2名、年中5名、年長10名合計17名が月2回利用しています。先生の声かけを聞いて動く、聞かれたことに考えて答える、見て真似る、ルールを理解する、友達と一緒にいること等をねらいに活動しています。お母さんには、子どもをたくさんほめるように促しています。

お母さんにほめられて、『できた』と子どもたちが思える事で、子ども達は自信がもてます。また、そのような『できた』の働きかけを、幼稚園・保育園に伝えることで子どもたちの『できた』の環境作りを行っています。

新しい環境、新しい先生、新しい友達という中で、4月の様子は、子ども達の気持ちが高揚していて、職員の声掛けなどなかなか聞き取れませんでした。特に、静止レッスンでは、止まれず、しゃべっていたり集中できていませんでした。そこで、声掛けなどの支援から、モデル(警察官の敬礼等)を印刷した紙を見せて、「真似してみよう」等と目で見て分かるものを使用しました。子ども達の反応は良好で、今まで参加できなかった子も参加できるようになりました。その注目を、対人につなげるため、現在は、紙と職員の模倣を半々にして支援しています。

お母さんのお話会では、最近の様子や、幼稚園・保育園に入っている話を進めています。先日のお話し会は、「長期休みの過ごし方」でした。各家庭様々な過ごし方を送っており、美術館や夜の動物園、プールなど、情報交換ができました。今後も、情報交換、意見交流の場として有意義な時間が持てるよう計画していきます。



総合防災訓練



9月2日（月）に総合防災訓練を実施しました。

当日朝の天気予報では降水確率が80%でしたが、訓練避難警報の放送が流れた11時頃、天気予報とは反して天気は快晴でテント内の温度は35℃を超えていました。テントを多めに建て風通しを良くして、扇風機を使って風を回すこと、細めに水分補給をすることで暑さをしのぎました。普段はお茶をあまり飲まない子も自分からお茶をもらいに来るなど子ども達自身も自分の身体をしっかりと守ろうとしていました。念のため、集会室を休憩室として用意していましたが、使用することなく、全員が避難所のテント内で過ごすことができました。

子ども達は各グループごとに用意したおもちゃであそんだり絵本を見ながらゆったりと時間を過ごしました。職員の消火訓練を見て額に汗を流しながら「がんばれー」と応援する姿、仮設トイレの体験でトイレの中に入るのを嫌がる子どもが、友達が入っていく姿を見たり、「先生と一緒に入ってみよ」と職員から声をかけられることでトイレに入れた姿を見て子ども達の成長をととても頼もしく感じました。トイレの練習が終わった後は、全員でグラウンドのテントの下でカレーを食べました。みどりグループ、きいグループでは「おかわり」という元気な声が多く聞かれました。ももグループでもほとんど子どもが完食しました。なかには普段カレーは食べられない子が「3口も食べれたよ」といって友達や職員と喜んでいる姿も見られました。

食後はお部屋に戻っておやつを食べたり、ジュースを飲み、ゆっくりと身体を休めながらお家の人がお迎えに来るのを待ちました。

今回の訓練で、子ども達は普段と違う環境にも対応し、避難から部屋に戻るまで、ほとんどの子どもが泣くことなく過ごせました。そして、学園としては天候（気温・湿度・天気）などによって対応を考え直す必要を改めて感じたよい訓練となりました。

ご家庭でも、防災グッズの中に子どもが落ち着けるアイテムや子どもが確実に食べられる物を入れておく等、災害のなかで子どもと一緒に生活をしていくために必要な物を確認し、準備して下さい。また、この機会に被災した場合の連絡手段や集合場所等もご家族でも改めて確認して下さい。



らいおん中間報告



らいおんグループは幼稚園、保育園での生活をベースとし週1回、一日学園で生活をします。5月からスタートし、月・火曜日は年少（7名）、水・木曜日は年中（11名）、金曜日は年長（6名）の子ども達が通園しています。月1回、親子療育を行っていてその中で親子で活動に参加をし、お子さんの様子を一緒に確認したり、お話し会を作り、その中でお母さん達同士が勉強をしたり話せる場を作っています。また、必要に応じてこちらから幼稚園・保育園へ巡回訪問をします。幼稚園・保育園の先生方が見学に来てくださる時もあります。お互いに情報交換、共通理解をし、子ども達にとってよりよい支援方法などを確認します。

前期の様子として年少さんは「生活の流れが分かる・自分で出来ることを増やす」年中さん「身の回りのことを自分で行う」年長さんは「自分の思いを伝える・相手の話を聞く・聞いて動く」という所を目標とし、それぞれ取り組んできました。その中で朝の支度では、入園当初は流れが分からず教室をふらついてしまう子がいましたが、その都度「着替えをするよ」「カバンの中から洋服を出して着替えよう」など丁寧に伝えてきた事で今では職員が言う前に自分でカゴをロッカーから出し着替えに取り組む姿が見られるようになりました。

後期に向けては、個々の目標、例えば「一人で着替える」目標に対して一人で着替えが出来ている様であれば次のステップとして「カバンの中に入っている洋服をカゴに出す、裏返った服直す、脱いだ服をたたむ」などの目標を立てていきたいと思います。逆に難しい課題に対しては着替える物を上下の服ではなく、「下だけ着替える」にするなど一人ひとりに合った目標を掲げ行っていきたいと思います。それプラス後期では、すべての事に対して声を掛け教えるのではなく、本人達が気づけるような声掛けをしたり、見守りをしていきたいと思っています。



親子教室中間報告



月3回実施している就園前の1歳～2歳のお子さんの親子グループです。今年度も面談日を設け、家庭での様子や就園についての思いを伺い、お子さんへのお家で出来るアプローチ方法などを一緒に考えています。現在の登録人数は40名、延べ人数は332名（4月～7月）の方が利用されています。1グループ10名～15名で活動しています。

今年度は、＜我が子のできたね！ポイント、たくさん見つけよう！＞をテーマに活動を行っています。その中でも“親子で一緒に何でもチャレンジ！”では、先生やお母さんを真似して一緒に踊ったり、プールでワニ泳ぎに挑戦。“苦手なことも少しだけ頑張ろう！”では、着席活動が苦手な子達も始めと終わりの挨拶の時には、椅子に座り前で行っていることに気付くことを目標にしてみました。その際には、皆でうたを歌いリズムに合わせて椅子に座ることを促し“頑張って座れたね！”の経験を積めるよう過ごしています。

3ヶ月が経ち、着席活動では、隣の子が姿勢を正している様子を見て同じように手を膝に置き背筋を伸ばす姿や、友達が走っている様子を見て同じように後ろについて走って遊ぶことも増えました。

一方、周りの様子に気づけるようになったことで、友達の使っている物が欲しくなり取ってしまう子や、自分の思いをことばで上手く伝えられず、手が出てしまうという事も多くなりました。その様子を見て、お母さん達の中では“かして”と言えるようになるといいのに…”という悩みも出てきています。以前は職員に相談することが多かったお母さん達でしたが、親御さん同士で話しアドバイスし合うなど、悩みを共に共有する姿が見られ横の繋がりも以前より強くなったと感じています。

そして、今お母さん達の話題は「就園」についてです。いくつかの幼稚園の体験に行き「どこが良いかな」と悩む方や、「学園と幼稚園、どちらが我が子にあっていいのか」と考える方も多くなっています。親御さんと一緒にそれぞれのお子さんに合った就園先を見つけていきたいと思います。



子じか中間報告



月～金曜日（月1回土曜日グループ）実施している幼稚園、保育園との併行通園の親子グループです。現在の利用者は年少20名、年中29名、年長27名、総数76名（H25.9.1現在）の方が利用されています。1グループ5名～11名で活動しています。

子じかグループは「子どもがどこで困っているのか・つまづいているのか」「どのように関わればいいのか」「子どものいいところ！」を見つけていく場です。そして「自分の気持ちを相手に上手く伝えられない」「気持ちをコントロールできない」「集団行動ができない」など生活に困り感を持った子ども達が過ごしやすいように、一人ひとりに合わせた大人のかかわり方、子ども同士でのかかわり方、環境の整え方を、お母さんとスタッフが一緒に考えていきます。

先日、年長グループで大なわとびをやりました。最初から跳べた子は10人中2人ほどでした。なわとびと言うと、なわを跳ぶだけの単純なあそびに思えるかもしれませんが。しかし“なわを跳ぶ”一瞬の間には、なわを見続けること、タイミングを合わせてジャンプすること、次のジャンプのために姿勢を保ち続けることなどたくさんの力が必要になります。活動の中では、まずなわで楽しくあそぶ経験を積もうと、なわをくねくねヘビのように職員が動かしたり、左右にゆらゆらなわを波のように動かしたりし、それを子ども達が踏まないようにまたいだり、ジャンプしてあそぶとことから始めました。何回も繰り返していくうちに“なわをよく見る”“なわに当たらないようにする”意識が生まれました。スタッフの声に合わせてジャンプし“タイミングを合わせる”ことができるようになっていきました。失敗しても、一回しか跳べなくてもお母さんやスタッフが「すごいね！」「さっきより上手になったね！」と声をかけることで、子ども達は「もう一回がんばる！」「次はもっと上手にできる！」と自信を持って臨む姿が伺えました。

何気ないあそびの中にも、子ども達は苦手さを感じており、そのために経験不足になってしまうことを、なわとびから感じました。後期も、一人ひとりの得意なところと苦手なところに合わせて働きかけること、小さなことでも子ども達のできたことを大人がたくさんほめてあげることを行い、子じかグループの子ども達が家庭や幼稚園・保育園のなかで自信を持って生活できる力をつけていきます。

6月下旬からプレイグラウンドで水あそびをやっていたためか、プール開きでは水を怖がることなく水に触れられる子が半数以上いました。水が苦手な子は、カメプールで水位の低いところに足を浸けて慣らしました。また、小プールに入ることができても大プールは抵抗がある子も3割程いました。職員と一緒に大プールに入り職員の膝に座ったり、少人数で大プールに入ったり、ビート版の上に浮かんだり、フープやダイスボールを拾うあそびを展開しました。夏休み明けには、水が苦手だった子も自らプールサイドからプールの水を触ってみたい、恐るおそるシャワーに近付いて行ったりと、水に興味を持つ姿が見られるようになりました。プール納めでは、ワニ泳ぎ・プールの中で歩く・たらいに浮かぶ等、一人ひとりができるようになったことをみんなの前で披露しました。最後は全員が大プールに入り、大プールの底に沈んでいるゼリーを拾うことができました。



きいグループのプールの目標はふたつありました。一つは、『みんなで大プールに入ってあそぶ』。毎回プールの終わりの時間が近くなると「みんな集まれ！」と声がかかり、大プールのプールの囲いに座ります。「せーの、バタバタバタ」と足を動かし水しぶきをあげて、その日のプールを終わりにするということを続けてきました。水しぶきが苦手な子は少しみんなと距離をおいたりしましたが、少しずつ顔に水がかかっても平気になって友達と並んで水キックが出来ました。もう一つの目標は『個々、水あそびを楽しむ』プールが始まった頃は、プールに潜ってあそぶ子から、シャワーが苦手な子から色々でした。プールに潜ってあそんでいる子には「足をバタバタして少し進んでみよう！」という目標。シャワーが苦手な子にはまず足だけシャワーでOK。次にお腹、肩と少しずつ水がかかる部分を広げ、少しずつ大丈夫の幅を広げてきました。最後のプール納めではみんなでワニ泳ぎが（大プールの水を半分にしました）出来る等、楽しむことが出来ました！



プールは楽しみにしていた子も多く、普段は着替えに時間がかかる子も水着に着替えるのは早かったり、ゴーグルをつけて「カッコいい?」と職員に見せにくる子もいました。中には「プールはやらない!」と言う子もいましたが、プールに入れば笑顔で水しぶきを上げていました。プールに入るのが苦手だった子も、ワニ泳ぎをする職員の背中に乗ったり、一人でプールの縁を伝って歩けるようになりました。水が顔にかかるのが苦手な子も顔を付けるチャレンジをして、ほんの少しですがつけることができました。みんなでワニ泳ぎを楽しむ子や、水に潜って泳ぐ子もいました。お友達や職員と水の掛け合いを楽しむ子もいました。大プールに座ってのバタ足は、毎回みんな揃ってやりました。

8月26日に迎えたプール納めの発表会では、ビート板を持ってバタ足をした子、職員が手を持ちバタ足をした子、ワニ泳ぎをした子、手押し車をした子、職員と一緒にアヒル歩きををした子それぞれでしたが、みんな大プールの端から端まで進むことができました。



納涼祭

8月31日(土)に納涼祭がおこなわれました。当日は雨が心配され雲が多かったものの、風が吹き暑さも和らいだ中での開催となりました。今年度の納涼祭は学園児・家族・来賓を合わせて約330名の方が来園されました。また、学生や育成会、悠々塾、赤とんぼ連など約60名の方がボランティアとして納涼祭の開催に協力してくださいました。

16時になるといよいよ納涼祭開始！！門をくぐるといつもと違う雰囲気の学園、浴衣姿の先生達、多くの人。初めて納涼祭に参加する子は緊張した様子で、ゲームコーナーに変わった中庭や先生の顔をじーっと見つめていました。中には先生達があいさつをするとお母さんの後ろに隠れる子もいました。しかし、時間が経つにつれて模擬店を回ったり、ゲームコーナーに参加したり、やぐらの周りでお友達と顔を合わせたりと、納涼祭を楽しむ様子がみられ始めました。

模擬店では悠々塾のみなさんが作る綿菓子が出来上がるのをずっと見つめている姿がみられました。目の前でだんだん大きくなる綿菓子を前に、真剣な表情で不思議そうに見る子や“早く食べたいな”と笑顔で楽しみに待つ子など、同じ場所でも子どもによって反応は様々でした。また他の模擬店では、お母さんが子どもにお金を渡し、子どもから先生にお金を渡すやり取りがみられました。“自分でやるぞ”と先生に向かって精一杯手を伸ばす子ども、“その経験を大事にしよう”と子どもの目線に身を屈める先生と隣でやり取りを見守るお母さん。それぞれの思いがこもったやり取りが印象的でした。



中庭で繰り広げられたゲームコーナーではボランティアのお兄さん、お姉さんとの交流が中心となりました。紐ひっぱりではお姉さん達の応援の中紐を引き、射的では的が落ちると「わーい！」「やったー！」と喜び合っていました。つきのお部屋でおこなわれた育成会主催のワニワニパニックでは、身体を張ったお兄さん達が活躍！！はじめは突然出てくるワニに驚く子どもが多かったですが、「ここだよ！」と教えてもらいながら2回3回と叩くうちに一生懸命ワニの動きを追い、ワニを叩けば叩くほどお部屋いっぱい子ども達、親御さん、お兄さん、お姉さんの笑い声が響いていました。

模擬店やゲームコーナーが終わると、いよいよ盆踊り！！1ヶ月程前から練習を重ねてきました。我が子の盆踊りを楽しみにしていた親御さんも多いと思います。子ども達が大好きな『月夜のぼんちやりん』では、先生の「みーぎ、ひだり」のかけ声に合わせて身体を動かす子が多く、「盆踊りが見れてよかったです」という親御さんの感想も聞かれました。

今年度も無事に納涼祭を終えることができました。みなさんのご協力、多くのご来場ありがとうございました。



納涼祭の締めくくりは赤とんぼ連のみなさんによる三ヶ日手筒花火☆夜空を見上げながら打ち上がる花火を待つ姿からは、子どもだけでなく大人も待ち遠しい気持ちが伝わってきました。中には「花火」と聞くだけで怖くなってしまい、『シューッ』という音に驚いてさらに怖くなる子もいました。「少しだけ見よう」とお母さんの手を帰り道の方へ引っ張りながらも1発だけ見た子、お父さんに抱っこされながら恐る恐る見ていた子…会場の後方では怖い思いをしたお友達もいましたが、学園のお友達みんなと同じ花火を見られたことは、この夏の思い出にしたいですね。

野菜を丸ごと食べて、節約生活＆健康な暮らしを！